**第１５回登別市市民自治推進委員会　ぬくもり部会議事録**

（敬称略）

◆ 開催日時：平成３０年　７月２５日（水）　１８時００分～

◆ 開催場所：登別市役所２階　第２委員会室

◆ 出席部会員：部会長　 田渕　純勝

副部会長　雨洗　康江

　　　　 　　部会員　 今　順子

鎌田　和子

佐藤　画美

　　　　　　　　　　　　 梅田　秀人（協働推進庁内委員会部会長）

 【保健福祉部次長】

平田　雅樹（協働推進庁内委員会副部会長）

【保健福祉部子育てグループ総括主幹】

◆ 欠席部会員：部会員　　岩浅　眞純

◆ 事　務　局：　　　　　伊藤　慶一郎【市民生活部市民協働グループ主査】

◆ 議　　　題：今後の部会における取組内容について

≪事務局≫

前回の部会で、第３期基本計画・第１次実施計画に記載されている事業の中から、市とは違った切り口で部会として「やさしさと共生するまち」を実現するために取り組む事業の案を出していただくこととなっておりました。

本日は皆様から案をいただき、その中から実現可能性が高く成果の上がりそうな事業を絞り込むという作業をしたいと思います。

【健康について】

≪副部会長≫

これまで取り組んできた特定健診のことは、継続した方が良いのでしょうか？

現在アーニスで啓発が行われているほか、私の身の回りでは、病院で受診を勧められるという事例も見られています。

≪部会長≫

　そのような取り組みが一層広がれば受診率は上がりそうですね。行政からもプッシュしてもらって、取り組みを継続していただきたい。

≪副部会長≫

　以前、婦人会で特定健診について説明してほしいと行政に依頼したことがありましたが、日曜日は対応できないと言われました。そこで地元の企業に頼もうということになり、３人の議員に声をかけたところ２人が来てくれました。皆持病があり普段から病院にかかっているので、わざわざ特定健診を受けなくてもよいという考え方でしたが、予算のしくみなどについて説明を受け、理解が深まりました。特定健診の特色は、出た結果に対して本人に指導がされることで、そこに意義があるということが分かって良かったです。

≪部会長≫

　それを複数回受けることで更に理解が深まりますね。

≪庁内委員≫

　複数回受診する中で、毎回同じ指摘を受けるので保健指導を受けなくなるという事例もあるようです。

≪部会長≫

　毎回の指導の内容について、記録は残らないのでしょうか。

≪庁内委員≫

　記録は残ります。

≪部会長≫

　では過去の指導結果を踏まえて一歩進んだ指導をすることが望まれますね。

≪庁内委員≫

　平成３０年度からは保健師による家庭訪問を導入し、一歩進んだ取り組みとしています。

≪部会長≫

　それに加えて、最初に話が出ていましたが、各団体に出向いての指導も強化していただけたら良いですね。

≪副部会長≫

　年に複数回指導に来ていただくことはできるのでしょうか。

≪庁内委員≫

　できます。

≪副部会長≫

　なぜ指導を受けたいかというと、以前３０人に特定健診を受けているか聞いたところ、２人しか受けていなかったのです。そこで、特定健診に関する話を何度も聞けば少し身近に感じてもらえるのではないかと思ったのです。

≪部会長≫

　幼稚園の職員の皆さんは健康診断や特定健診を受けていますか？

≪部会員≫

　皆受けています。保健指導は同じ内容になることもあるようですが、指導を受けたその時は気を付けようと思うので、健康を改善するきっかけになり、受診は必要だと思います。ただ、検診を受けても、保健指導を受けるかどうかは本人次第です。

≪庁内委員≫

　それは役所も同じで、指摘事項のある職員については、人事から所属グループに保健指導を受けさせるようにという通達が来ます。

≪部会長≫

　組織に所属している人はそのように管理されていますが、リタイヤした人は本人が積極的にならなければいけませんね。

≪庁内委員≫

　受診によって不調が早期に発見されれば医療費の削減につながるので、これは大切なことです。本人にとっても重症化して治療が長期化することを防ぐのはメリットになります。

≪部会長≫

　病気の早期発見につながった事例を知ってもらうと効果がありますね。そのような、団体とのコミュニケーションが、個人の健康を守ることにつながってきそうです。企業等以外の、健康診断を実施する義務のない団体にはたらきかけることも必要ですね。

　あくまで健康に関する取り組みは継続する中で、新たなことに取り組んでいただければと思います。

【第３期基本計画の達成状況について】

≪部会長≫

　第３期基本計画の達成状況については、毎年総括はされているのでしょうか？

≪庁内委員≫

　毎年とりまとめています。

≪部会長≫

　毎年まとめていることが、案外知られていませんね。市のホームページを見ている人は多くありません。せめて我々だけでも年度ごとの実績や反省点を知る必要がありますね。第３期基本計画が策定されてからことしで３年目になりますが、それがどこまで達成されたか、各事業を実際に担当する主査や主幹からお話が聞きたいです。

≪事務局≫

　昨年の夏に、企画調整グループから委員の皆さんに２８年度までの実績が送られており、その内容について、１２月の全体会議の中で説明がされたかと思います。

≪部会長≫

　説明はされていましたが、この部会に関わりのある内容をもっと掘り下げて聞きたいです。自分たちが作り上げてきた計画がどう運用されているのか知る権利はあると思いますので。また、外部からのチェックが入ると、市の担当部署はきちんと調べなければいけないし、説明に対して我々が質問する事項も出てきてまじめに検証が行われ、市職員の意識も高まりそうです。

　既に結果が出ている２８年度の実績で良いので、話が聞ければ我々の理解度が高まり、行政にもフィードバックされる気がします。

　どの事業についてそのような報告をするのか、逆に行政から提案いただいて、我々が話を聞くという形でも、相互に意見交換ができますね。

【今後の部会のテーマについて】

≪部会長≫

　今後の部会のテーマについては、以前、企画調整グループからもらった「将来のまちづくりの姿」の中から見つけるのも良いかもしれません。

≪庁内委員≫

現在取り組んでいることよりも、５年後など将来何が課題になっていくのかを見つけて皆さんに話し合いをしていただく方が、実現性や夢があるような気がします。

≪事務局≫

　これから平成３２年度に市制施行５０周年を迎える中で、市民自治推進委員会に協力いただきたい内容が書かれた企画調整グループ発行の書類があります。それも今後の取り組みを決める材料になると思います。

≪部会長≫

　企画調整グループから各部会に対して説明はないのですか。

≪事務局≫

　先日の部会長・副部会長会議の際に話がされました。そのほか必要があれば各部会への説明も検討するということです。

≪部会長≫

　今後、市制施行５１年目以降がどうなるのかということが問われることになりますね。後日、企画調整グループにアポイントを取ってもらって、特に福祉の分野に重点を置いて我々に説明いただきましょう。

≪事務局≫

　企画調整グループに打診してみます。

≪部会長≫

　今日の会議は、年度が替わってからの考え方を整理するということで、ここまでで良いでしょうか。

≪事務局≫

　これから案が出たら、もう一度こちらで整理をし、問題点や進められる方向性などを示して参ります。

　先ほど、市から説明の機会があれば良いというお話がありましたが、まずはそれを進めるという方向で進めてよいでしょうか。

≪部会長≫

　今日の話し合いのまとめをします。

　健康については、団体への講話により健康への意識を高めることが効果的なようなので、行政に依頼をして講話をしていただくとともに、今年度から実施している、保健師が家庭訪問をしての健康相談を続けていただき、取り組みのレベルアップを図るよう頑張っていただくこととします。

　新たな取り組みについては、将来にわたってのまちづくりの姿について市から説明をしていただき、その中で福祉に関する将来像をつくっていければ良いと思います。

【その他】

≪部会員≫

健康に関する取り組みについてですが、寄ってけーるに行ったことのある方はいますか？

≪部会長≫

１回行ったことがあります。地域包括支援センターが、毎月第３火曜日に、アーニス１階ホールで健康相談などを実施していますね。時間は・・・

≪事務局≫

時間について次回までに確認しておきます。

（１０時３０分～１２時３０分です）

【次回以降について】

●今後の部会における取組内容について

●次回開催　未定（８月２７日以降）